

科目名	海外インターンシップ I	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			総合政策学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修 □選択	
英文表記	Overseas Internship I	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
ふりがな	よこた けいざぶろう ちば りゅういつ	開講期間	□前期 □後期 ■通年 ■集中		
担当者名	横田 恵三郎 千葉 隆一	実務家教員 担当科目	○	修得単位	2単位
授業のテーマ	海外関連企業での就労体験や現地での生活をとおして、視野を拓き異文化を理解し尊重する素養を身に付けるとともに、語学力等今後改善すべき自己の課題を発見することが出来る。また、職業意識を高めることが出来る。				
到達目標	グローバル・センスを身に付ける大切さを理解し、海外への興味、関心を引き出し、以降の学修に活かすこと。また、ある程度自己の職業適性を掴むことを目標とする。				
授業概要	当該授業は事前指導・海外での実習・事後指導・報告会、試験で構成されている。接客現場での就労体験を行なうことになるため、特に身だしなみ、表情、挨拶、言葉遣い等のマナーは基礎的要件としてしっかり実践する必要がある。更に、渡航国の歴史や文化、習慣など基礎的な知識を学び、安全かつ有意義な海外滞在となるよう事前に学習する。実習中は毎日を振り返り、必ず日報として記録に残した上で、事後授業の振り返りの材料とする。				
授業計画					
第1回	事前指導① ・ガイダンス ・海外インターンシップとは ・心構え ・自分への10の約束	第5回	事後指導① ・海外インターンシップの振り返り1		
第2回	事前指導② ・整容 ・ビジネスマナー1 ・自己紹介書 ・挨拶メール	第6回	事後指導② ・海外インターンシップの振り返り2		
第3回	事前指導③ ・渡航国を知る(文化、習慣) ・必要な渡航準備の確認 ・ビジネスマナー2	第7回	合同報告会①		
第4回	事前指導④ ・外部講師によるビジネスマナーの実践演習	第8回	合同報告会②		
	インターンシップ(40時間以上)	第9回	試験		
授業時間外の学習	日頃から身だしなみに留意するとともに世界のニュースや動きに関心を持ち毎日チェックすること(1.5時間程度)				
履修条件 受講のルール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習先は先方の事情等があるため決して希望どおりにはならないことを理解してください。 2. 基本、接客現場での実習になり、整容を保てることが最低条件になります。 3. 渡航費(航空運賃、パスポート等)や現地宿泊費等は全額自己負担になります。 4. 外国語については高みを目指そうと日頃から努力していることを条件とします。 5. 接客に興味がないまたは適性がないと判断した場合は履修を認めない場合があります。 6. 事前指導の授業に全て出席した者だけが実習に参加することが出来ます。遅刻、無断欠席は、履修登録を取り消したものとみなします。 7. 実習後の報告会では、各自7分程度で成果を報告してもらいます。パワーポイントを利用した報告を推奨します。 				
テキスト	特に定めない。				
参考文献・資料	プリントとしてその都度授業の中で配付する。				
成績評価の方法	試験20%、報告書・報告会での報告30%、実習受け入れ先企業の評価50% ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。				
オフィスアワー	担当教員に直接尋ねること。				
成績評価の基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)				

実務経験を活かした授業内容	海外勤務を含め長年、企業で実務の経験を踏んできたことから異文化などについて多面的に説明していきたい。
学生へのメッセージ	異文化を体験し理解することはこれからのあなたの人生にとって大きな糧となります。